うまい米づくり情報　第７号

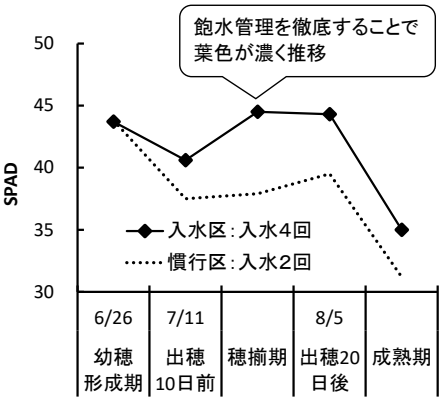
令和７年６月２５日
なんと農業協同組合
砺波農林振興センター

水稲の生育状況

早生品種の幼穂形成期は、平年より２日早い6/25頃と予想されます。平年と比べて、草丈はやや長く、茎数は平年より多く、葉色はやや淡くなっています。

幼穂形成期以降は「飽水管理」で稲体の活力を維持しましょう（右図）。

今年もカメムシが多く発生しています。７月初旬までに水稲周辺の雑草地だけでなく、大麦跡ほ場周辺等できるだけ多くの雑草地の草刈りをしましょう。



飽水管理による葉色向上効果（R4 五百万石）

＜なんと担い手組織協議会　事務局調査結果＞　（令和７年６月23日調査）

品種	田植日		草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉色		葉齢(葉)		幼穂形成期（平年）
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
五百万石	5/3	5/4	53.9	48.1	537	436	4.2	4.3	11.6	11.0	予想6/25(6/27)

生育調査データを掲載しています。
（ＪＡなんとホームページ）

当面の管理のポイント

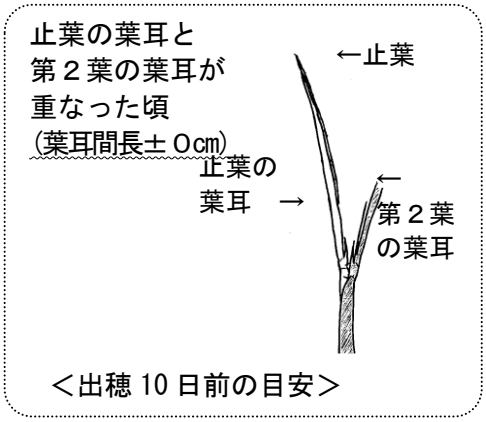
１　早生の穂肥

（１）肥効調節型肥料『LPs 五百万石専用』を使用の場合

・原則、追肥は必要ありません。

・ただし、出穂10日前の葉色が「五百万石」では4.3「雄山錦」では4.2より淡いの場合は、出穂５～３日前頃に追肥し、穂揃期の葉色を4.5～4.7に誘導しましょう。

追肥３号　　７～10kg/10a程度



＜出穂 10 日前の目安＞

（２）分施栽培（『基肥206』等を使用）の場合

・下記の表を参考に慎重に穂肥を施用しましょう。

品　種	幼穂形成期（幼穂長２㎜）	１回目の生育		肥料名	施肥量（10a当り）	
		幼穂長	葉色		１回目	２回目（１回目の１週間後）
五百万石	６月25日頃	８～１０㎜（幼穂形成期から４～６日後頃）	3.8～4.0	追肥３号	１２kg以内	１５kg程度
五百万石（特栽米）				なんと米有機穂肥	１０kg以内	１２kg以内

・「葉色が濃い」、「葉がメラついている」場合は施用時期を遅くしましょう。

※特に「大豆跡」および「堆きゅう肥施用」ほ場は注意しましょう。

２　紋枯病防除

・穂ばらみ期(早生：７月初旬、てんこもり：７月下旬)に発病株率が高い（早生：５％以上、てんこもり：15%以上）ほ場は、追加防除を行いましょう。

・防除の際は落水し、薬剤が株元まで届くよう散布しましょう。また、周辺に飛散しないよう注意しましょう。

防除薬剤：バリダシン粉剤DL、散布量：４kg/10a

3　水管理

・幼穂形成期から出穂期までは稲の水分要求量が高まるため、**「飽水管理（足跡や溝に水がある状態になったら入水）」**を行い、水不足に注意しましょう。**原則、水吐板は外さない。**

（幼）：幼穂形成期（平年）　（出）：出穂期（平年）

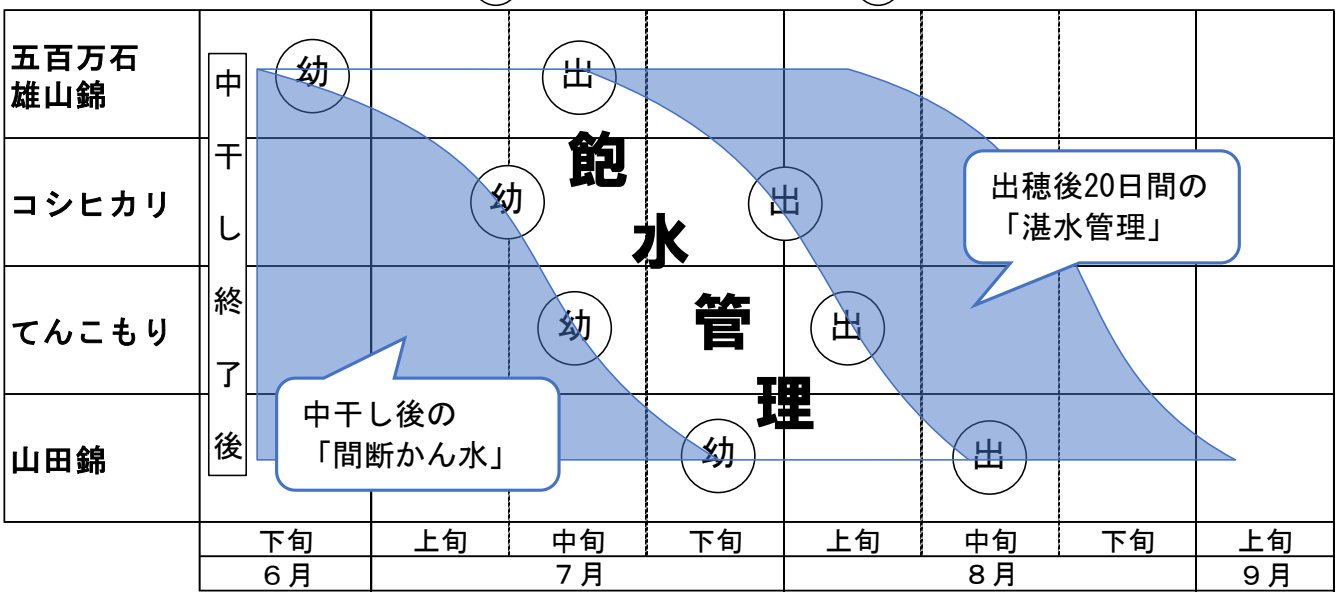


図　品種ごとの水管理スケジュール（目安）

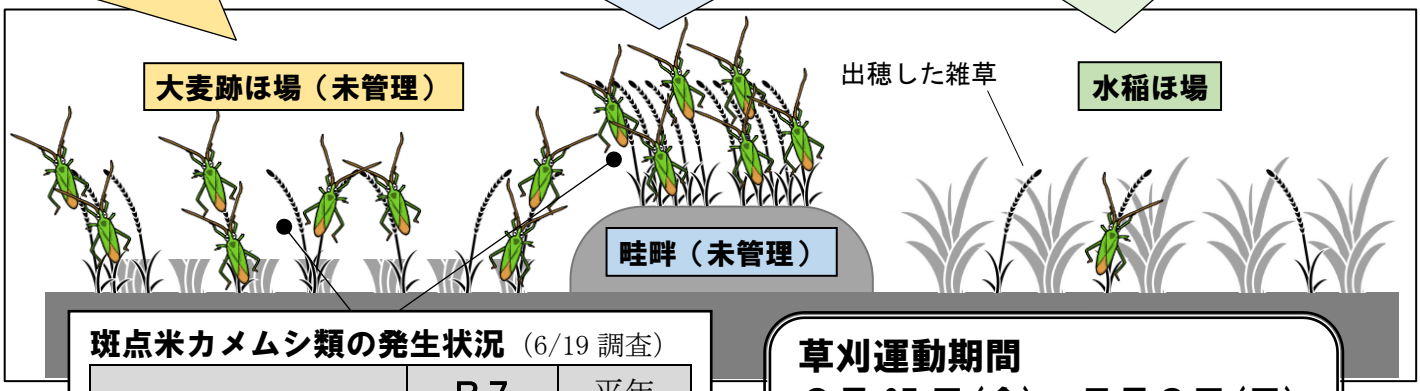
4　斑点米カメムシ類の増殖防止対策

・昨年の斑点米カメムシ類の発生が多かったため、本年春から斑点米カメムシ類の発生頭数が多くなっています。

麦跡等の不作付地は、**緑肥等の栽培による有効活用**や**適正な雑草管理（７月初旬までの耕起等）**を行い、カメムシの増殖を抑えましょう。

休耕田や畦畔等は**早生の出穂２週間前までに草刈りを終え**、それ以降は、**雑草の穂が出ないように**草刈りをしましょう。

水田内にヒエ等イネ科雑草やホタルイが発生している場合は、**出穂前に除去**しましょう。



斑点米カメムシ類の発生状況（6/19 調査）

		R７	平年
雑草地	発生地点率	**100%**	82.7%
	平均頭数	**31.0 頭**	5.0 頭
大麦跡	平均頭数	**30.2 頭**	―

平年の６倍

草刈運動期間
６月 27 日（金）～７月６日（日）
一斉草刈日
６月 28 日（土）～29 日（日）

熱中症に注意！！
・こまめな休憩や、水分・塩分補給
・複数人で作業を行う。
・帽子、熱を逃がしやすい衣服を着用する　など

環境省
熱中症予防
情報サイト

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから

お問い合わせは、JA なんと営農部（62-0261）または砺波農林振興ｾﾝﾀｰ（32-8147）へ